

会社名 EIZO株式会社

代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆

(コード番号 6737 東証プライム)

問い合わせ先 執行役員 総務部長 比良 浄敬

電話番号 076(275)4121

## CDP の気候変動分野調査において「A マイナス」評価を獲得

EIZO 株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛 祥隆)は、国際的な環境非営利団体 CDP※が実施した気候変動分野に関する 2022 年調査において、リーダーシップレベルである「A マイナス」スコアを獲得しました。

CDP の質問書は気候変動に係るガバナンスや事業戦略、ステークホルダーへのエンゲージメント活動など、約 130 の設問によって構成され、その回答内容により「A」から「D マイナス」の 8 段階のスコアで評価を受けます。情報開示が不十分、もしくは無回答の企業には「F」評価が付与されます。当社の獲得した「A マイナス」スコアは、最高評価である「A」スコアに次ぐ 2 番目の評価であり、脱炭素社会の実現に向けた企業としての先進的な取り組みが評価されました。



当社は、「映像を通じて豊かな未来社会を実現する」という企業理念のもと、環境に配慮した製品づくりを原点として企業活動を続けてまいりました。環境に調和した企業活動は当社の重要な経営課題の一つであり、近年では「気候変動への対応」をマテリアリティ(重要課題)の一つとして特定し、TCFD 提言に基づく情報開示の実施、事業活動およびサプライチェーンにおける GHG(温室効果ガス)排出削減目標の SBT 認定取得とその目標達成に向けた取り組みなど、対応を一層加速しております。今回の評価は、このような当社の取り組みが総合的に評価されたものと考えています。

今後とも、これらの活動を通じて脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※ CDP: 2000 年に英国で発足。企業等の環境情報開示・評価システムを運営し、環境情報開示におけるグローバルスタンダードとして広く認知されている。2022 年には 680 を超える機関投資家と 280 社を超える大手購買企業が、CDP のプラットフォームを通じて環境への影響、リスク・機会に関するデータの開示を要請し、グローバルで過去最高の約 18,700 社の企業が質問書の回答に応じている。

▼CDP グローバル Web サイト

<https://www.cdp.net/en>

以上